

平成 13 年における港勢データ

★TOPICS

○平成 13 年国際海上コンテナ取扱個数 52 万 7,064TEU、過去最高を更新

平成 13 年国際海上コンテナ取扱個数は、全国的に横ばい又は減少の傾向が見られる中、博多港では対前年比 3.2%増の 52 万 7,064TEU で過去最高を更新。

輸出は、家電品等の”電気機械“(対前年比 115.9%)、”産業機械“(対前年比 141.0%)、古紙等の”再利用資材“(対前年比 222.9%)等の増加により 0.8 万 TEU 増加した。

輸入は、”動植物性製造飼肥料“(対前年比 111.0%)、家具等の”家具装飾品“(対前年比 112.2%)、”水産品“(対前年比 120.1%)、家電品等の”電気機械“(対前年比 124.4%)等の増加により、1.1 万 TEU 増加した。



※ コンテナ取扱個数はダイレクトとフィーダーの合計値。

※ TEU:

(Twenty-foot Equivalent Unit)

コンテナ個数を数えるときの単位で、

20 フィート換算個数のこと。

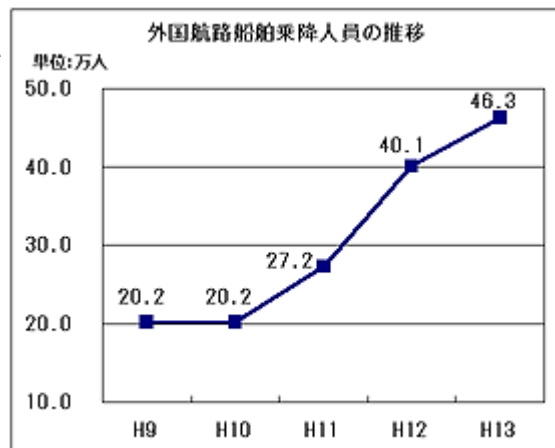
20 フィートコンテナ 1 個が 1TEU です。

40 フィートコンテナ 1 個は 2TEU となります。

○平成 13 年外国航路船舶乗降人員 46 万 2,982 人と大幅増過去最高を更新

平成 13 年外国航路船舶乗降人員は、初めて 40 万人を超えた平成 12 年実績(40 万 1,118 人)をさらに大きく上回り、過去最高を更新。同時多発テロの影響も懸念されたが、堅調な韓国人気に支えられ、テロ後の 9~12 月実績でも前年に比べ 12,717 人、10.6%の増加。

全国の港湾の中でも、平成5年以降9年連続の第1位となった。



1. 入港船舶

入港船舶数は41,775隻(前年比97.9%)、総トン数は6,181万総トン(同103.5%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数5,345隻(同99.3%)・総トン数3,488万総トン(同107.3%)、内航は隻数36,430隻(同97.7%)・総トン数2,693万総トン(同98.9%)であった。〈表-1 参照〉

表-1 入港船舶の推移

(単位:隻、総トン)

区分	平成13年		12年		11年		10年		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外航	隻数	5,345	99.3%	5,382	99.0%	5,437	105.5%	5,152	97.4%
	総トン数	34,883,779	107.3%	32,514,774	103.4%	31,434,123	103.0%	30,515,568	109.1%
内航	隻数	36,430	97.7%	37,279	106.8%	34,909	99.5%	35,071	96.5%
	総トン数	26,929,899	98.9%	27,220,368	110.5%	24,626,720	97.1%	25,363,404	98.4%
総数	隻数	41,775	97.9%	42,661	105.7%	40,346	100.3%	40,223	96.6%
	総トン数	61,813,678	103.5%	59,735,142	106.6%	56,060,843	100.3%	55,878,972	103.9%

2. 海上出入貨物量

海上出入貨物量は、外国貿易1,198万トン(前年比100.5%)、内国貿易2,444万トン(同100.5%)であり、総貨物量は3,642万トン(同100.5%)であった。これを出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移出は31.3%・1,139万トン、輸移入は68.7%・2,503万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。〈表-2、表-3 参照〉

表-2 海上出入貨物量の推移

(単位:トン)

区分	平成13年		12年		11年		10年		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外国貿易	輸出	3,766,073	100.5%	3,745,795	102.2%	3,663,816	110.7%	3,310,235	107.5%
	輸入	8,212,898	100.5%	8,174,385	108.4%	7,539,928	113.5%	6,640,259	93.6%
	計	11,978,971	100.5%	11,920,180	106.4%	11,203,744	112.6%	9,950,494	97.8%
内国貿易	移出	7,622,254	112.6%	6,768,314	95.3%	7,105,764	93.6%	7,590,070	118.1%
	移入	16,817,122	95.8%	17,560,002	100.2%	17,528,518	99.4%	17,633,699	97.5%
	計	24,439,376	100.5%	24,328,316	98.8%	24,634,282	97.7%	25,223,769	102.9%
総数	輸移出	11,388,327	108.3%	10,514,109	97.6%	10,769,580	98.8%	10,900,305	114.7%
	輸移入	25,030,020	97.3%	25,734,387	102.7%	25,068,446	103.3%	24,273,958	96.4%
	計	36,418,347	100.5%	36,248,496	101.1%	35,838,026	101.9%	35,174,263	101.4%

※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない

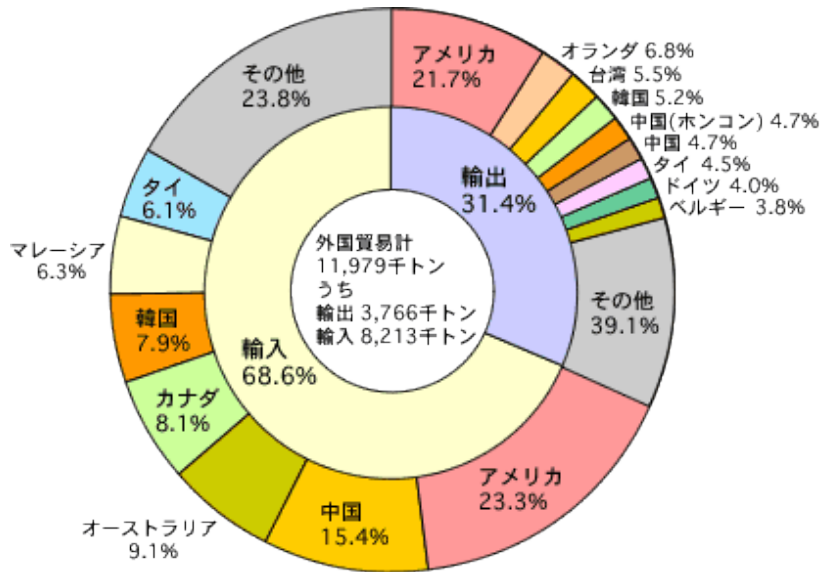
表-3 フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数の推移

(単位:トン)

区分	平成13年		12年		11年		10年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
移出	2,447,735	99.9%	2,450,550	121.9%	2,009,780	95.9%	2,094,855	105.8%
移入	2,640,395	99.5%	2,654,175	113.7%	2,334,000	101.5%	2,299,185	103.8%
計	5,088,130	99.7%	5,104,725	117.5%	4,343,780	98.9%	4,394,040	104.7%

2-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2-1-1. 輸出

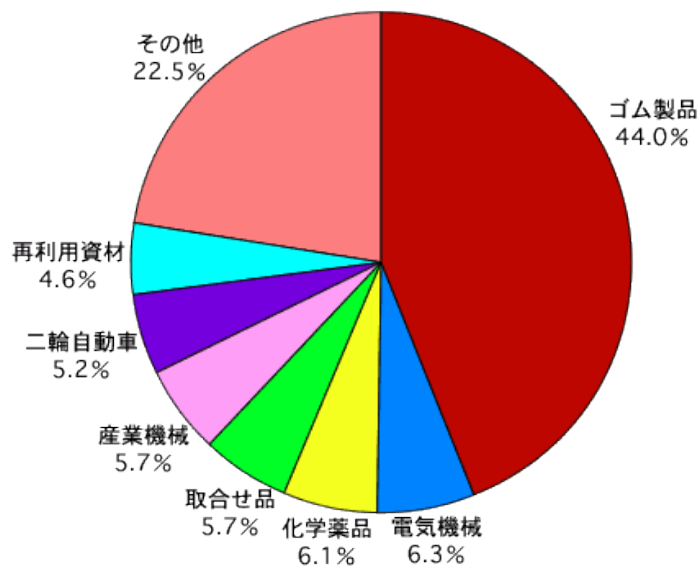
(1)貨物量

輸出貨物量は 3,766 千トン(対前年比 100.5%)であり、外国貿易の約 31.4%を占めている。<表-2, 図-3参照>

(2)品種別

輸出貨物量 3,766 千トンのうち「ゴム製品」が 1,657 千トン(44.0%)、「電気機械」が 236 千トン(6.3%)、「化学薬品」が 228 千トン(6.1%)であった。<表-4, 図-4参照>

図-4 輸出(3,766千トン)



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、アメリカが819千トン(21.7%)、オランダが255千トン(6.8%)、台湾が208千トン(5.5%)以下韓国、中国(ホンコン)と続いている。<表-5, 図-3 参照>

表-4 輸出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H13. 1-12月	構成比	H12. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	1,656,731	44.0%	1,955,384	52.2%	▲298,653	84.7%
2	電気機械	235,687	6.3%	193,060	5.2%	42,627	122.1%
3	化学薬品	228,234	6.1%	263,567	7.0%	▲35,333	86.6%
4	取り合わせ品	216,166	5.7%	253,481	6.8%	▲37,315	85.3%
5	産業機械	213,326	5.7%	155,598	4.2%	57,728	137.1%
6	二輪自動車	194,324	5.2%	197,801	5.3%	▲3,477	98.2%
7	再利用資材	173,220	4.6%	78,131	2.1%	95,089	221.7%
	上記以外その他	848,385	22.5%	648,773	17.3%	199,612	130.8%
	合計	3,766,073	100.0%	3,745,795	100.0%	20,278	100.5%

図-5 上位5品種の輸出相手国・地域

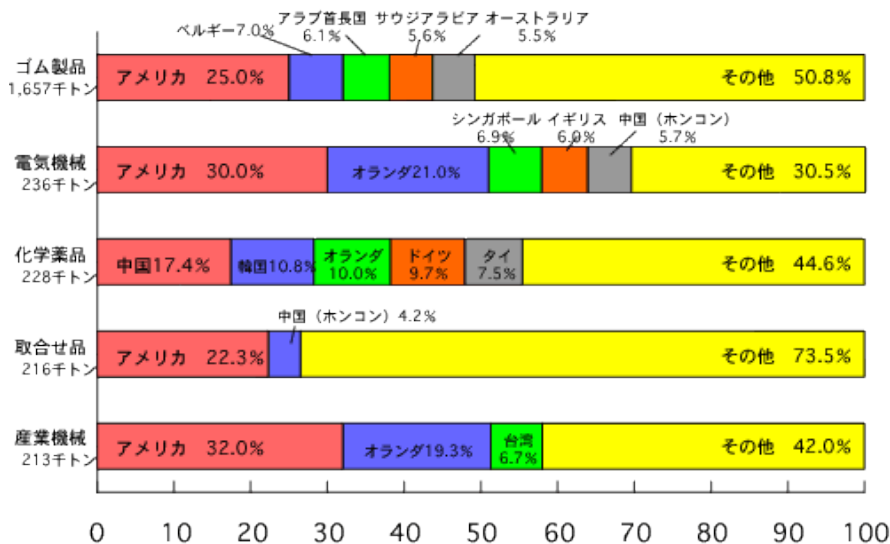


表-5 輸出 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最終船卸国・地域名	H13. 1-12月	構成比	H12. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	アメリカ	818,520	21.7%	1,049,854	28.0%	▲231,334	78.0%
2	オランダ	255,390	6.8%	242,842	6.5%	12,548	105.2%
3	台湾	207,630	5.5%	187,370	5.0%	20,260	110.8%
4	韓国	195,498	5.2%	164,103	4.4%	31,395	119.1%
5	中国(ホンコン)	178,440	4.7%	215,871	5.8%	▲37,431	82.7%
6	中国	175,140	4.7%	102,647	2.7%	72,493	170.6%
7	タイ	170,100	4.5%	94,340	2.5%	75,760	180.3%
8	ドイツ	150,180	4.0%	151,974	4.1%	▲1,794	98.8%
9	ベルギー	143,340	3.8%	144,209	3.8%	▲869	99.4%
10	オーストラリア	129,750	3.4%	138,350	3.7%	▲8,600	93.8%
	上記以外その他	1,342,085	35.6%	1,254,235	33.5%	87,850	107.0%
	合計	3,766,073	100.0%	3,745,795	100.0%	20,278	100.5%

2-1-2. 輸入

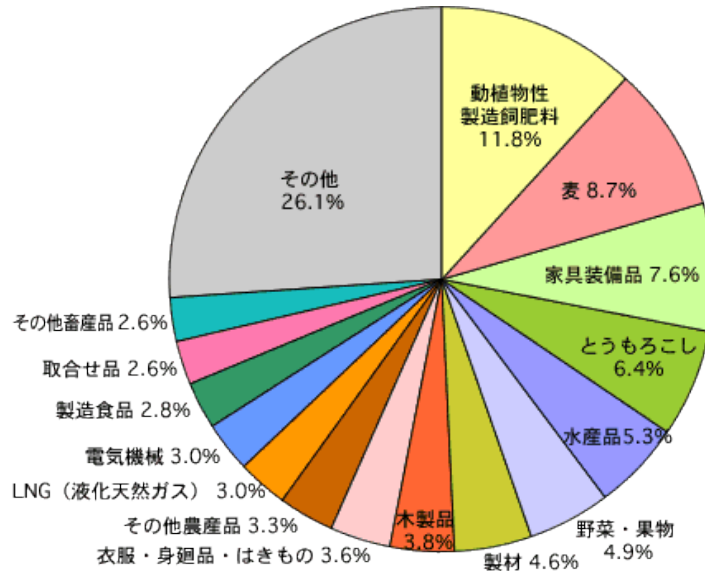
(1)貨物量

輸入貨物量は8,213千トン(前年比100.5%)であり、外国貿易の68.6%を占めている。<表-2, 図-3参照>

(2)品種別

輸入貨物量8,213千トンのうち「動植物性製造飼肥料」が967千トン(11.8%)、「麦」が714千トン(8.7%)、「家具装備品」が624千トン(7.6%)であった。<表-6, 図-6参照>

図-6 輸入(8,213千トン)



(3)主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、アメリカが1,912千トン(23.3%)、中国が1,266千トン(15.4%)、オーストラリアが748千トン(9.1%)以下カナダ、韓国と続いている。<表-7, 図-3参照>

表-6 輸入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H13. 1-12月	構成比	H12. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	動植物性製造飼肥料	966,850	11.8%	961,666	11.8%	5,184	100.5%
2	麦	714,144	8.7%	833,000	10.2%	▲118,856	85.7%
3	家具装備品	623,551	7.6%	571,174	7.0%	52,377	109.2%
4	とうもろこし	524,129	6.4%	425,532	5.2%	98,597	123.2%
5	水産品	433,836	5.3%	378,376	4.6%	55,460	114.7%
6	野菜・果物	402,745	4.9%	360,276	4.4%	42,469	111.8%
7	製材	375,725	4.6%	427,986	5.2%	▲52,261	87.8%
	上記以外その他	4,171,918	50.8%	4,216,375	51.6%	▲44,457	98.9%
	合計	8,212,898	100.0%	8,174,385	100.0%	38,513	100.5%

図-7 上位5品種の輸入相手国・地域

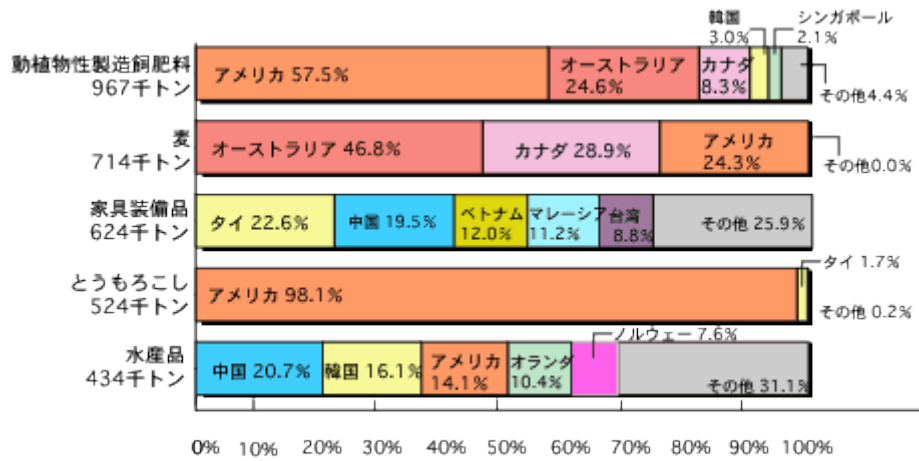


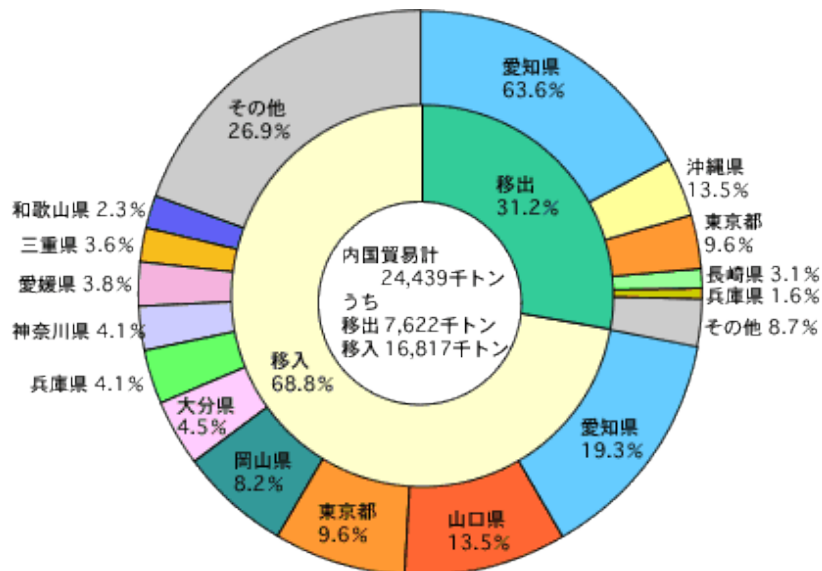
表-7 輸入 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最終船卸国・地域名	H13. 1-12月	構成比	H12. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	アメリカ	1,912,472	23.3%	1,964,428	24.0%	▲51,956	97.4%
2	中国	1,265,954	15.4%	1,131,723	13.8%	134,231	111.9%
3	オーストラリア	747,885	9.1%	742,947	9.1%	4,938	100.7%
4	カナダ	661,162	8.1%	721,591	8.8%	▲60,429	91.6%
5	韓国	649,034	7.9%	601,226	7.4%	47,808	108.0%
6	マレーシア	516,560	6.3%	534,889	6.5%	▲18,329	96.6%
7	タイ	504,589	6.1%	485,148	5.9%	19,441	104.0%
8	インドネシア	231,317	2.8%	198,181	2.4%	33,136	116.7%
9	フィリピン	205,973	2.5%	224,356	2.7%	▲18,383	91.8%
10	台湾	193,536	2.4%	165,987	2.0%	27,549	116.6%
	上記以外その他	1,324,416	16.1%	1,403,909	17.2%	▲79,493	94.3%
	合計	8,212,898	100.0%	8,174,385	100.0%	38,513	100.5%

2-2. 内国貿易

図-8 内国貿易(移出・移入相手都道府県別)



※ 図-8・10・12については、仕出・仕向港に基づく都道府県別の集計である。

2-2-1. 移出

(1)貨物量

移出貨物量は7,622千トン(前年比112.6%)であり、内国貿易の31.2%を占めている。<表-2, 図-8参照>

(2)品種別

移出貨物量7,622千トンのうち「完成自動車」が2,981千トン(39.1%)、「その他輸送機械」が2,284千トン(30.0%)、「水」が240千トン(3.2%)であった。<表-8, 図-9参照>

(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、愛知県が4,849千トン(63.6%)、沖縄県が1,025千トン(13.5%)、東京都が732千トン(9.6%)以下長崎県、兵庫県と続いている。<図-8参照>

図-9 移出(7,622千トン)

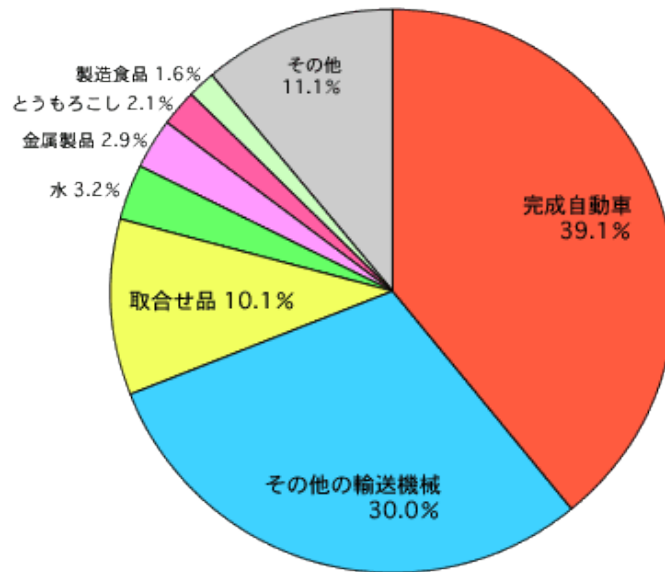
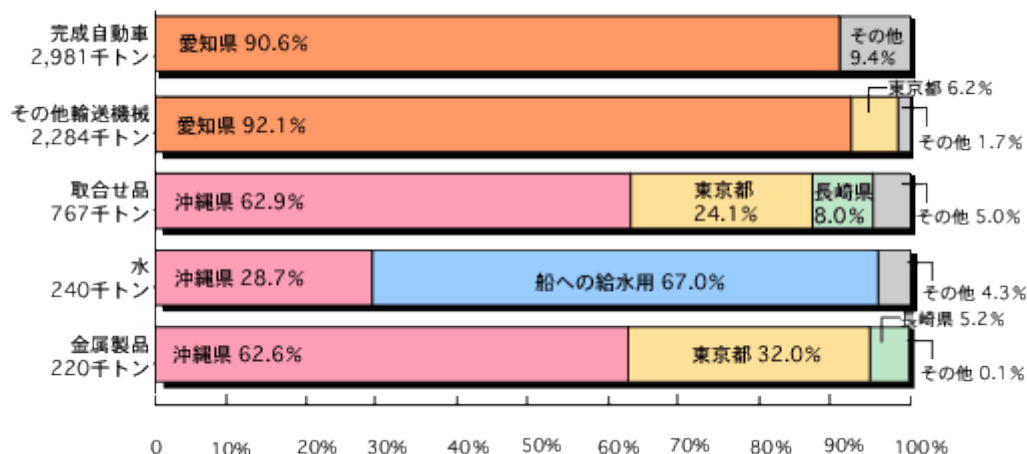


表-8 移出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	H13. 1-12月	構成比	H12. 1-12月	構成比	同期増減	同期比
1	完成自動車	2,980,732	39.1%	2,128,225	31.4%	852,507	140.1%
2	その他輸送機械	2,283,920	30.0%	2,331,751	34.5%	▲47,831	97.9%
3	取合わせ品	767,108	10.1%	519,176	7.7%	247,932	147.8%
4	水	240,413	3.2%	279,678	4.1%	▲39,265	86.0%
5	金属製品	220,053	2.9%	148,696	2.2%	71,357	148.0%
6	とうもろこし	157,698	2.1%	146,940	2.2%	10,758	107.3%
7	製造食品	122,971	1.6%	156,072	2.3%	▲33,101	78.8%
	上記以外その他	849,359	11.1%	1,057,776	15.6%	▲208,417	80.3%
	合計	7,622,254	100.0%	6,768,314	100.0%	853,940	112.6%

図-10 上位5品種の移出相手都道府県



2-2-2. 移入

(1)貨物量

移入貨物量は 16,817 千トン(前年比 95.8%)であり、内国貿易の 68.8%を占めている。<表-2, 図-8参照>

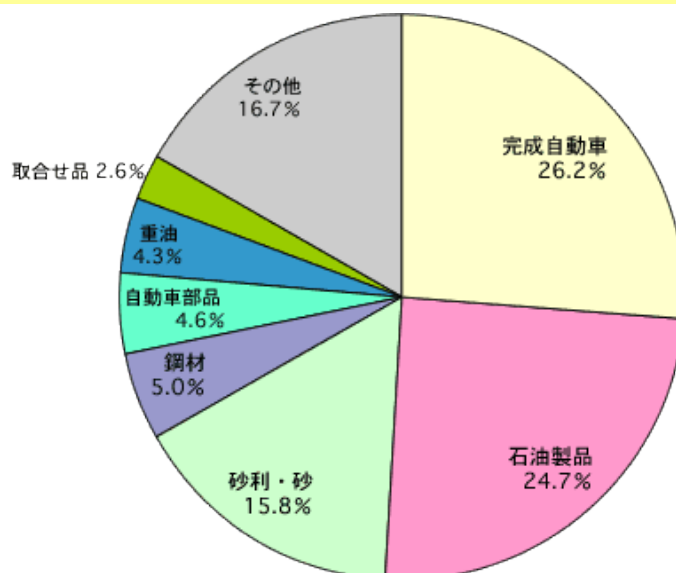
(2)品種別

移入貨物量 16,817 千トンのうち「完成自動車」が 4,408 千トン(26.2%)、「石油製品」が 4,156 千トン(24.7%)、「砂利・砂」が 2,662 千トン(15.8%)であった。<表-9, 図-11 参照>

(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、愛知県が 3,253 千トン(19.3%)、山口県が 2,269 千トン(13.5%)、東京都が 1,615 千トン(9.6%) 以下岡山県、大分県と続いている。<図-8参照>

図-11 移入(16,817千トン)



3. 国際海上コンテナ貨物

国際海上コンテナ取扱個数は、527,064TEU(前年比 103.2%)であった。なお、ダイレクトコンテナは 493,272TEU(同 104.1%)、フィーダーコンテナは 33,792TEU(同 91.9%)であった。<表-10, 図-13参照>

図-13 国際海上コンテナ個数の推移

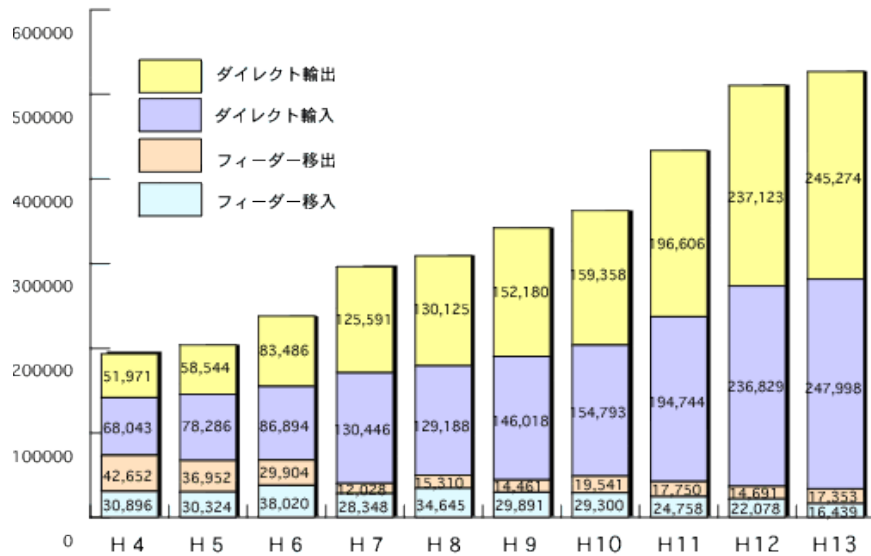


表-10 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成 13 年		12 年		11 年		10 年	
		個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	245,274	103.4%	237,123	120.6%	196,606	123.4%	159,358	104.7%
	輸入	247,998	104.7%	236,829	121.6%	194,744	125.8%	154,793	106.0%
	計	493,272	104.1%	473,952	121.1%	391,350	124.6%	314,151	105.3%
内国貿易 (フィーダー)	移出	17,353	118.1%	14,691	82.8%	17,750	90.8%	19,541	135.1%
	移入	16,439	74.5%	22,078	89.2%	24,758	84.5%	29,300	98.0%
	計	33,792	91.9%	36,769	86.5%	42,508	87.0%	48,841	110.1%
総数	輸移出	262,627	104.3%	251,814	117.5%	214,356	119.8%	178,899	107.4%
	輸移入	264,437	102.1%	258,907	118.0%	219,502	119.2%	184,093	104.7%
	計	527,064	103.2%	510,721	117.7%	433,858	119.5%	362,992	106.0%

※ 実入りコンテナと空コンテナの合計値。

※ 国際海上コンテナの考え方

博多港における実質的な外国貿易コンテナ貨物(最終的に諸外国の港湾との間で取り引きされるコンテナ貨物)です。

1) ダイレクトコンテナ(外国貿易扱い)

博多港と諸外国の港湾との間で直接取り引きされるコンテナ貨物です。

2) フィーダーコンテナ(内国貿易扱い)

国内の他の港湾で中継(トランシップ)され、博多港と諸外国の港湾との間で取り引きされるコンテナ貨物です。

4. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が46.3万人(前年比 115.4%)、内国航路は156.3万人(同 99.2%)となり、外内航あわせて202.6万人(同 102.5%)と200万人を突破した。

図-14 船舶乗降人員の推移

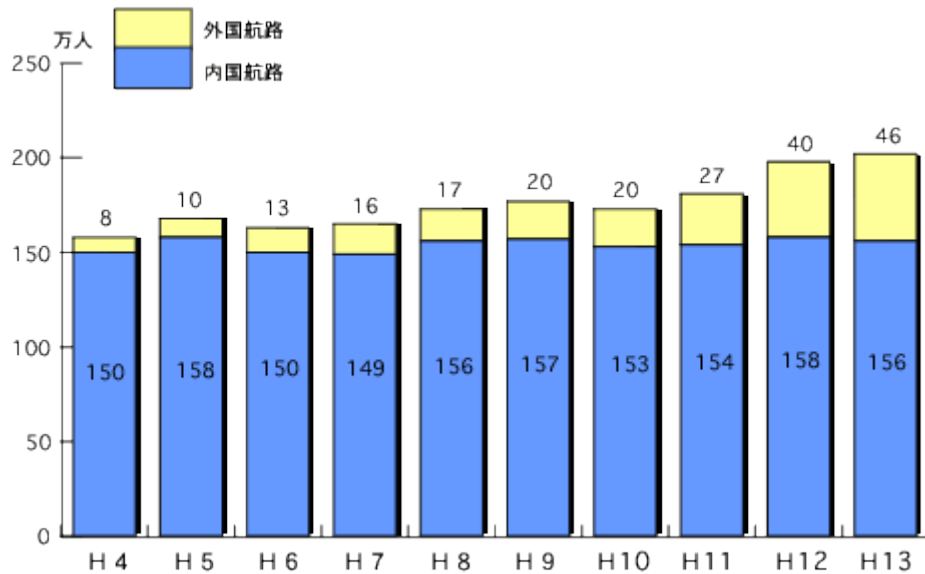


表-11 船舶乗降人員の推移

(単位:人)

区分		平成13年		12年		11年		10年	
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比
外国航路	乗込人員	231,989	114.3%	202,930	146.4%	138,620	134.7%	102,923	100.8%
	上陸人員	230,993	116.6%	198,188	148.3%	133,639	134.9%	99,094	99.3%
	計	462,982	115.4%	401,118	147.3%	272,259	134.8%	202,017	100.1%
内国航路	乗込人員	801,016	98.9%	810,022	102.4%	791,019	100.2%	789,785	97.9%
	上陸人員	762,049	99.6%	765,347	101.7%	752,236	101.6%	740,030	97.5%
	計	1,563,065	99.2%	1,575,369	102.1%	1,543,255	100.9%	1,529,815	97.7%
総計	乗込人員	1,033,005	102.0%	1,012,952	109.0%	929,639	104.1%	892,708	98.2%
	上陸人員	993,042	103.1%	963,535	108.8%	885,875	105.6%	839,124	97.7%
	計	2,026,047	102.5%	1,976,487	108.9%	1,815,514	104.8%	1,731,832	97.9%